

私の臨床メモ（専門医による治療紹介）

その5

耳鼻咽喉科の最新治療 —内視鏡下甲状腺手術—



耳鼻咽喉科部長 佐野 塁

日頃より貴重な症例をご紹介頂き誠にありがとうございます。当科では内視鏡鼻副鼻腔手術、睡眠時無呼吸に対するCPAP、耳科手術など耳鼻咽喉科全般を扱いますが、特に頭頸部腫瘍の治療が得意です。以前から形成外科と合同で頭頸部癌再建手術を実施しておりますが、それに加えて甲状腺腫瘍に対する内視鏡下手術（Video assisted neck surgery, VANS）を行っておりますのでご紹介させていただきます。

甲状腺良性腫瘍及びバセドウ病に対してVANS が2016年に保険適応となり2018年には甲状腺がんに対しても保険適応となりました。その後全国でこの手術が普及しつつあります。この手術は鎖骨より下方に皮膚切開線をおくことで術後の整容面に大きく貢献できます。その切開創から5mm経の内視鏡を挿入し、モニターで映像を見ながら手術を行います。当院では50mm大までの甲状腺良性腫瘍及び20mm大までの甲状腺がんに対してこの手術を実施しております。更に労働者健康安全機構からの競争資金を獲得しており、VANS合併症についての研究を実施中であり、その成果を発表しております。

今後も少しでも皆様のお役に立てるよう耳鼻咽喉科一同日々精進して参りたいと存じますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

